

## 挑み続けた日々

時代が抱える課題に目を背ける事なく、批判を恐れずに改革を進めていく。

今を生きる責任のある私たちの世代が、次の世代に何を残していかなければならないのか。人口の減少と共に物質的な豊かさは縮小していき予算の枠も縮小していく中で、これまでと同じ様に行政運営を行い、これまでと同じ様に公共サービスを提供していけば、いつか取り返しがつかなくなる財政状況へと陥ってしまいます。

だからこそ私は選挙の折りにも、そしてこれまでの間も目の前の課題に目を背ける事なく、批判を恐れずに避けては通れない改革を訴え続けてきました。

『時には市民の皆様にも共に汗を流して頂かなければならない時もございます』『時には市民の皆様にも共に責任を果たして頂かなければならない時もございます』

私の政策は「どのサービスは我慢をして頂かなければならないのか」「どのサービスは負担を背負ってでも次の世代に踏襲していくべきなのか」など、現実を直視した決して皆様にとって響きの良い政策や改革ばかりではございません。

限られた財源の中では満足の頂ける政治が出来ない時もございます。しかし、一つ一つの政策に対して市民の皆様と価値観を共有しながら、選択と決断を行うことで、納得の頂ける政治は必ず出来ます。

その一方で、県の事業では限られた財源の中でも確実に予算を確保して、山県市内で本当に必要な事業が着実に進められました。

地域によっては少し待って頂いた事業や我慢をして頂いた事業もございますが、市と県が緊密に連携をして事業の優先順位を明確に定めてきた事により、効率的に事業を進める事が出来ました。そして、市全体の明確な将来ビジョンと確かなストック効果を示し続けた事により、長年の課題でもありました多くの事業を着実に進める事も出来ました。

物質的な豊かさが縮小していく中で、財源の見込みもなく、将来に負担を残すにもかかわらず「あれもやります」「これもやります」という政治から、批判を恐れずに改革を進めていき『行政の責任』と『地域の役割』を今一度見つめ直して、持続可能な制度設計を築いていきます。

このまま衰退していく自治体の一つとして山県市を見届けるのか。それとも今を生きる責任のある私たちの世代が、その責任を果たしていきながら、将来は成長が出来る、将来は自立が出来る、山県市の将来ビジョンに向かってこれからも挑戦し続けていくべきなのか。

どちらの道を選んでいくべきなのかを市民の皆様にも聞きたいと、県議会議員選挙の際に訴えさせて頂き、市民の皆様にも選択をして頂きました。挑戦していくと。

どれだけ厳しい現実にも山県市が直面しようとも、今を生きる責任のある私たちの世代がこれからの山県市を諦める訳にはまいりません。

今年も来年も山県市の挑戦は続きます。皆様のお心とお力を山県市の発展と改革のために私に託して下さい。そして、共に次の世代に責任が持てる山県市を築いてまいります。

この改革の実りが実感出来る将来の山県市のために。

活動  
報告書  
No.11

# 挑戦せずして、 未来が開けますか。

We have potential

Potential  
安心も自立も挑戦の先にある

岐阜県議会議員 Onda Yoshiyuki

# 恩田よしゆき

岐阜県議会議員 恩田よしゆき事務所  
〒501-2104 岐阜県山県市東深瀬846-1  
TEL0581-32-9597 FAX0581-32-9598

HP 恩田よしゆき 検索

岐阜県議会議員 恩田よしゆき後援会 討議資料 No.11

岐阜県働き方改革実行中！

岐阜県の働き方改革！大きな前進！！



ワーク・ライフ・バランスの整った職場環境づくりを進めるために、是非、古田知事に「イクボス宣言」をして頂きたいと考えますが、知事のご所見をお尋ねいたします。

Yoshiyuki Onda



Hajime Furuta



県組織のトップとしてイクボスと軌を一にした取り組みを進めてきておりますので、本答弁をもって「イクボス宣言」とさせて頂きたいと思っておりますがいかがでしょうか。

平成28年第4回定例会一般質問にてワーク・ライフ・バランスの整った職場環境づくりについて提案。

古田知事イクボス宣言！

岐阜県議会最年少・無所属議員のたった1人の提案が

企業誘致に向けて！大きな前進！！

山県市の努力だけでは解決できない課題を広域で取り組んでいく！！

平成29年5月  
西回りエリア工場用地開発推進連絡会発足！



2020年までに300haの工業用地開発の目標を進めていきます

企業誘致や企業立地に対する市町への支援や、県が行う工業団地開発について提案をさせて頂きました。

その結果、東海環状自動車道西回り沿線自治体と県が連携しながら、企業誘致・立地をより積極的に実施する西回りエリア工場用地開発推進連絡会が発足されます。

又、これまで岐阜県土地開発公社が行う工業団地開発は30ha以上が原則でした。今後は開発規模にとらわれず、企業の立地需要などを総合的に勘案しつつ検討が行われます。

岐阜県と山県市の確かなパイプ



山県高校の存続に向けて！大きな前進！！

平成28年3月、岐阜県立高等学校活性化計画策定委員会にて再編統合対象校となりました。そこで、平成28年第4回岐阜県議会定例会の本会議にて山県高校の存続と活性化について提案をさせて頂きました。

同年、10月には山県高校の存続・活性化に向けた『山高MIRAIプロジェクト』を発足しました。多くの皆様のご協力を頂き幅広いご意見をまとめて、平成29年3月には『総合学科』や『単位制普通科』への抜本的な『改編』に向けた提案を岐阜県教育委員会にさせて頂きました。

平成29年度内には存続・活性化の方向性を示して頂きます

山県高校は  
なくしません！！

存続活性化に向けて  
取り組み実行中！！

この1年の取り組みが  
将来の大きな一歩となります！！



平成28年第4回定例会一般質問にて県立高校の活性化について提案。

山県市の「将来を変える一歩」となりました。

国道256号高富バイパス工事！大きな前進！！

平成28年7月に大桜地区国道256号高富バイパス建設促進委員会を発足！！

国道256号高富バイパス  
伊佐美交差点までの事業が進みます！



《国土交通省 岐阜国道事務所提供》



東海環状自動車道(仮)高富ICの開通に向けて、国道256号高富バイパスも県内の最重要事業箇所として進められています。山県市のまちづくりや企業誘致・企業立地には非常に重要な国道でもあります。

山県市のポテンシャルを確かな形にしていくために接続道路等も含めて、伊佐美交差点までの完成に向けて引き続き市と県が緊密に連携し進めていきます。